

Profile



ナターリヤ・スクリャービナ (ソプラノ)
Наталья Скрябина

1987年モスクワに生まれる。2008年にモスクワ音楽院アカデミック音楽カレッジへ入学し、2014年よりグネーシン記念音楽アカデミーでクズネツォフ氏に師事する。ミュージカルダイアモンド(2011年、モスクワ)第3位入賞、ミュージック・ウィズアウト・リミッツ(2013年、リトアニア共和国)第1位入賞、ミュージカル・パフォーマンス・アンド・ペダゴギー(2014年、イタリア)第1位入賞等、数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。2011年からグネーシン劇場のオペラスタジオでソリストを務めた。現在、ロシア国内やカザフスタン、イタリア、フランス等で音楽フェスティバルへの参加やコンサート活動を精力的に行っている。



ヤーナ・アカラ (ソプラノ)
Яна Акара

1987年ウファ(ロシア連邦バシコルトスタン共和国)に生まれる。2013年にウファ州立芸術大学を卒業後、オーストリアで研鑽を積み、その後グネーシン記念音楽アカデミーへ進み2016年に卒業した。第10回リムスキー・コルサコフ記念若いオペラ歌手のための国際コンクール(2016年、サンクトペテルブルグ)第2位入賞、国際オペラアリアコンクール"リベラル"(2016年、ポーランド)第2位入賞等、数々の国際コンクールで入賞を果たす。現在、ロシアをはじめポーランドやドイツ等ヨーロッパを中心に国際フェスティバルへの参加やコンサート活動を精力的に行っている。



ドミトリー・ロゴトネフ (バラライカ)
Дмитрий Роготнев

1999年イジェフスク(ロシア連邦ウドムルト共和国)に生まれる。6歳よりバラライカを学び始めV.セラフィモヴィッチに師事する。9歳の時、ワシリー・アンドレーエフ記念国際コンクール(2008年、サンクトペテルブルグ)で入賞を果たした。その後、数々の国際コンクールでの優勝、入賞を経て、2019年には全ロシア民族楽器コンクールにおいて栄冠を勝ちとった。現在、グネーシン記念音楽アカデミーでA.ゴルバチョフに師事しながらロシア国内を中心に積極的な演奏活動を行っている。



レオニード・ボムステイン (テノール)
Леонид Бомштейн

1967年レニングラード(現在のサンクトペテルブルグ)に生まれる。1996年にグネーシン音楽大学を卒業後、スタニスラフスキー&ミネロヴィチ・ダンチェンコ国立モスクワ音楽劇場での活動を経て、1998年ボリショイ劇場のソリストとなる。アイルランド、フランス、ドイツ、アメリカ、スイスを始め、世界中のオペラ音楽祭へ出演し活発な活動を続ける。現在は、演奏活動を続ける傍ら、母校であるグネーシン音楽大学で後進の指導にあたっている。



アストヒク・サルダリヤン (ヴァイオリン)
Астхик Сардарян

1993年エレバン(アルメニア共和国)に生まれる。幼少よりヴァイオリンを始め、2006年からモスクワ音楽院中央特別音楽学校で研鑽を積んだ。2012年にモスクワ音楽院に進み、S.クラフチェンコ氏に師事した。第9回青少年のためのロシアヴァイオリンコンクール(2004年、ヤロスラヴリ)第1位入賞をはじめ、フィンランド、スペイン、ギリシャ、アルメニア共和国、アラブ首長国連邦等で開催された国際コンクールで第1入賞、グランプリ受賞を果たす。モスクワ音楽院大ホールやクレムリン宮殿をはじめ、アルメニア共和国、ベラルーシ共和国等国内外で精力的な演奏活動を行い、ソロリサイタルに加え数多くのオーケストラとの共演も果たす。2017年よりモスクワ音楽院大学院に在籍しながら、母校である子供のための芸術学校(ロシア、オブニンスク)で後進の指導にあたっている。



エミル・リヒナー (ピアノ)
Эмиль Лихнер

1990年オムスクに生まれる。2005年、15歳の時にモスクワ音楽院附属中央特別音楽学校主催の国際コンクールにおいて第2位入賞、併せて特別賞を授与される。その後国立モスクワ音楽院へ進みS.ドレンスキーに師事した。これまでにモスクワ、サンクトペテルブルグ、ヤロスラヴリ、エカテリンブルグ、マグニトゴルスク、リャザン、サラトフを始めロシア全土の著名な音楽ホールから招待され演奏を行ってきた。また、モスクワ国際音楽祭第1位、第6回マリア・ユディーナ記念国際ピアノコンクール第3位、第2回「21世紀の芸術」国際室内楽コンクール第1位等、数々の国際コンクールで入賞を果たす。現在、オムスク・フィルハーモニー交響楽団のソリストを務める傍ら、オムスク音楽大学で後進の指導にあたっている。



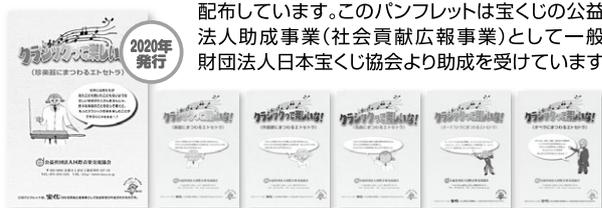
ドミトリー・フェイギン (チェロ)
Дмитрий Фейгин

1968年モスクワに生まれる。父はロシアの偉大なチェリストであったヴァレンティン・フェイギン、母は有名なチェロ教師であったガリーナ・ズーヴァレヴァ。モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。音楽院在学中にモスクワ音楽院大ホールにてアレクサンドル・ヴェデルニコフ(現ボリショイ劇場常任指揮者)指揮により、チャイコフスキー作曲「ロココのテーマによる変奏曲」でデビューした。また、ショスタコヴィッチ室内楽コンクールをはじめ数多くのコンクールで入賞を果たす。1986年からロシア国内外で本格的に演奏活動をはじめ、世界中でリサイタルやフェスティバルへ参加する。1995年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院中央付属音楽学校で教鞭をとった。これまでに共演したオーケストラはロシア、日本、韓国、ベトナムにおいて数知れず、イリヤ・ムーン、小林研一郎、広上淳一など世界的指揮者との共演も多い。また、ロシアを始め日本や韓国において多くのコンクールで審査員を務める。コダーイ、レーガー、ヴァインベルクの無伴奏曲を収録した「20世紀無伴奏チェロ曲集」は、「レコード芸術」誌にて「強靱で集中力が高く、聴くものを圧倒する」と評され特選盤に選ばれている。

クラシックって楽しいな!

(2015~)

当協会では、より多くの皆様にクラシック音楽を身近に感じて頂くことを目的に、クラシック音楽に関連する面白い情報を掲載したパンフレットを作成し、日本全国約1,250箇所(音楽ホールや日露交歓コンサートの会場、当協会のホームページ(<http://www.imea.or.jp/>))を通じて広く国民の皆様へ配布しています。このパンフレットは宝くじの公益法人助成事業(社会貢献広報事業)として一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けています。



【珍楽器編】 【楽器編】 【作曲家編】 【名曲編】 【オーケストラ編】 【オペラ編】

様々な珍楽器の動画を
 YouTube で公開中!



日露交歓コンサート公式